

働き方と安全衛生

- ASEANの多様性と変化 -



独立行政法人 労働安全衛生総合研究所
理事 福澤 義行

ASEANの多様性

□ 人口

- ▣ 40万人(ブルネイ)、540万人(シンガポール)から2億4千万人(インドネシア)まで

□ 1人当たりGDP(2012年)

- ▣ 834ドル(ミャンマー)、933ドル(カンボジア)から52,051ドル(シンガポール)まで
 - 日本は、46,707ドル

□ 宗教

- ▣ イスラム教:ブルネイ、インドネシア、マレーシア
- ▣ 仏教:ラオス、ミャンマー、タイ
- ▣ キリスト教:フィリピン

著しい変化の波

- ブルネイ、シンガポールを除き、軒並み5%を超す
経済成長
- マレーシア:2020年までに先進国入りする目標
- ベトナム:2020年までに工業国入りする目標
- ミャンマー:民主化を背景とした急速な外資による
投資拡大

2015年のASEAN経済統合

- 2015年末までに、ASEAN域内のヒト、モノ、カネの移動を原則自由化(緩やかな単一市場化)
- 労働分野でもヒトの移動の原則自由化を目指して標準化の動き→ASEAN OSH-Net



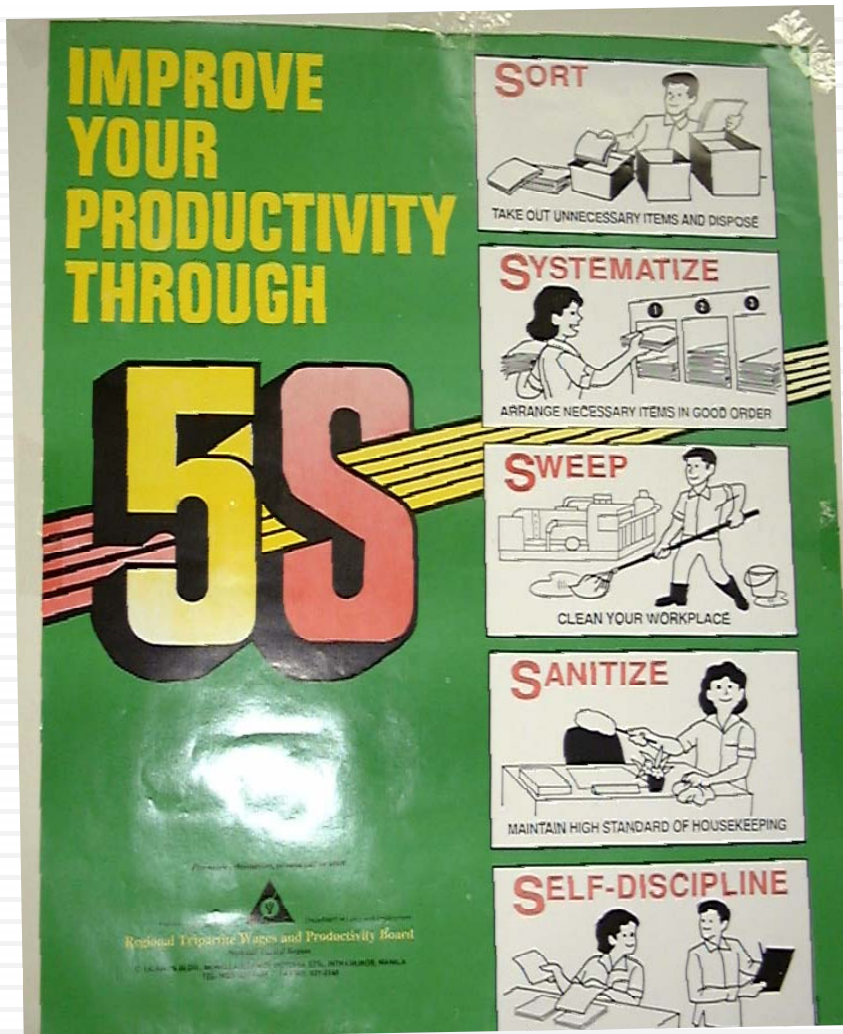
日本の常識は通用しない？

- 法制度と実態のギャップ
 - 免許は金で買える？
 - 個人用保護具はお飾り？
 - 安全はセキュリティー？



トップダウンとボトムアップ

- 日本の現場力の強さ
 - ▣ 優秀な労働者と**企業内での人材育成**を背景とした
ボトムアップ(カイゼン、5S、提案制度、KY、…)→
「ヒトに頼る(ことができる)安全」に強み
- トップダウンによる欧州型管理(例:OSHMS)
 - ▣ 「機械設備に頼る(頼らざるを得ない)安全」に強み
- 日本的管理が根付いてきたところも



フィリピンOSHC



マレーシアCIASST

提 言

- 「人づくりなくして安全なし
～モノづくりは人づくり～」

出典：古澤登著、中災防新書「元気な職場をつくる実践的
安全活動 ー安全スタッフ・管理監督者が組織を変えるー」

- 安全衛生を日本型労務管理や人材育成と
パッケージで「輸出」→日本の管理手法を
ASEAN標準に